

■ 目標値未達成の要因について

〔1〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
当期経常利益	千円	▲13,456	▲30,760

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発出され、卒業式や入学式、イベント等が中止となったことで、4 月売月の売上高が前年比で約 6 0 %と大幅に減少したため、卸、仲卸等に対する使用料の減額措置を行った。また、取扱の主力であるキクでみると、1 月の寒波の影響で産地からの供給量が落ち込んだこと、また、緊急事態宣言再発令を受け、業務や仏花で使う切り花の相場が大きく下落し、年明けから軟調であったが、平年の半値近くとなった。このようなこともあり、目標を大きく下回る結果となった。</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取扱高</td> <td>23,949,167</td> <td>21,674,544</td> </tr> <tr> <td>売上高</td> <td>562,321</td> <td>499,047</td> </tr> <tr> <td>売上高原価等</td> <td>560,061</td> <td>529,807</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>2,260</td> <td>▲ 30,760</td> </tr> </tbody> </table>		R 1	R 2	取扱高	23,949,167	21,674,544	売上高	562,321	499,047	売上高原価等	560,061	529,807	経常利益	2,260
	R 1	R 2													
取扱高	23,949,167	21,674,544													
売上高	562,321	499,047													
売上高原価等	560,061	529,807													
経常利益	2,260	▲ 30,760													
今後の改善方策	<p>・新型コロナウイルスの影響により花きの需要が減少した昨年から、ウイズコロナを踏まえた対策（WEBによるセリ方式への変更）により、安定的な花きの取引を実現し、徐々に花きの需要も回復傾向になっている。引き続き、卸売業者、仲卸売業者、買受人など市場関係者が一体となって、消費者の花き購買意欲を促進するなど、積極的な連携を進めていく。</p>														

〔2〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
消費拡大のためのイベント・ワークショップ等の開催、支援	回	12	5

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、当初は、8月に1回、9月に1回、下半期に10回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言等の期間や感染増加時期などがあり、年間を通じてイベント、ワークショップの多くが中止となったため、目標を大きく下回る結果となった。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月「親子見学体験ワークショップ」（親子参加型） ・10月「花高合戦」（高校生のフラワーアレンジメントバトル） ・10月「花生けバトル」（デモンストレーション） ・11月「花のデザイン祭り」（フラワーマーケット及びオークション） ・ 2月「フラワーバレンタイン」（花の販売） <p>【中止】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月「親子見学体験ワークショップ」（親子参加型） ・12月「フラワーアレンジメントワークショップ」2回 ・ 1月「フラワーアレンジメントワークショップ」2回 ・ 2月「フラワーアレンジメントワークショップ」 ・ 3月「フラワーアレンジメントワークショップ」
	今後の改善方策

■ 目標値未達成の要因について

〔3〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
市場関係者が産地等と連携して行う展示会、商談会の開催等	回	10	6

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、当初は7月以降に10回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、感染防止や人流抑制の観点から従来のイベント的な展示会や地方産地との往来もある商談会については開催ができず、目標を大きく下回る結果となった。</p> <p>【実績】商談会のみ ・8月（1回）11月（3回）12月（2回）</p> <p>【中止】 ・7月以降の展示会（2回）、1月2月の商談会（2回）を中止</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>・従来の対面式のセリからWEBセリへと移行したことで、対面による展示会や商談会から、オンライン上での開催を実施することで、新型コロナウイルスの影響を受けずに、開催が可能となるため、花きの取引増加に結びつくよう、取り組みを進めていく。</p>
---------	---

〔4〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
新規買受人の獲得	人	18	6

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発出され、卒業式や入学式等イベントの中止、結婚式や葬儀の縮小など、花きの小売業にも大きな影響があり、新たな新規出店を控える傾向があったため、目標を大きく下回る結果となった。</p>
-----------	--

今後の改善方策	<p>・卸会社と連携しながら、WEBセリに参加の買受人に対して、魅力ある市場であることをPRするとともに、買受人に呼びかけを行うことで、新たな買受人獲得に向けての取り組みを進めていく。</p>
---------	--

■ 目標値未達成の要因について

〔5〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
施設改修	百万円	80	23

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、新型コロナウイルスの影響による花きの取扱高減少に伴い、売上高賃料が減少したため、施設改修の項目の見直しを行い、経費削減を行ったことで、目標を大きく下回る結果となった。 （主な施設改修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場内空調機新設、更新関係【4,800千円】 ・場内換気扇修繕関係【2,796千円】 ・その他減価償却対象工事【11,972千円】 コンセント等電源設置工事（330千円）、ソフトウェア（1,769千円）、 監視カメラ移設等工事（255千円）、出口通行路整備工事（6,898千円）、 防火シャッター更新等工事（2,400千円）、 バッテリー及びファン設置工事（320千円） ・修繕費【4,254千円】
-----------	--

今後の改善方策	<p>・経営状況を見ながらではあるが、市場機能を維持するために、短期修繕計画及び建物状況調査を基に、場内事業者とも連携しながら施設改修に取り組んでいく。 令和 3 年度は、せりシステムの機能拡充として、約60,000千円の設備投資を予定している。</p>
---------	---

〔6〕

R 2 年度の 成果測定指標	単位	R 2 年度の目標値	R 2 年度の実績値
廃棄物の再資源化率	%	74	73

未達成の要因と分析	<p>・R 2 年度において、廃棄物全体としての量は減少しているが、一般廃棄物の減少に比べて、新型コロナウイルスの影響による年間の花きの取扱高の大幅な減少に伴い、花きの取扱に関する再生可能な資源（段ボール、紙、プラスチック）の減少が大きかったことから、廃棄物全体に占める再生可能な資源の割合が減少し、目標を下回る結果となった。</p>
-----------	---

今後の改善方策	<p>・市場内での出る廃棄物については、更なる分別の徹底を行うことで、再生資源として効率的に処理できるよう、場内事業者とも連携しながら、再資源化について取り組んでいく。</p>
---------	--